

教育を元気にする先進的な取り組み

「楽しい学校生活」と
「中学受験に通用する勉強を
両立する随一の学校」

系列に男子校の「東京都市大学付属中学」と共学の「東京都市大学等々力中学」という人気校を持つ東京都市大学付属小学校では、標準の成績をとれば、それらの中学に優先入学することもできるが、卒業生の半数以上は中学受験をする。今春卒業した6年生は、早慶はもとより、男子は筑駒・麻布、女子は桜蔭に複数合格、と進学実績も伸びている。さらに代表的な国語の中学受験参考書の著者である板橋昭夫教頭や、幼稚園教諭出身で算数教育の大御所・中山理先生が高学年の受験指導をする、充実した教師陣が自慢の学校だ。

しかし、魅力は勉強だけではない。中学受験に強い小学校にしてはめずらしく行事が多く、おおら

子どもの持つ好奇心を最大限活用する理科学習

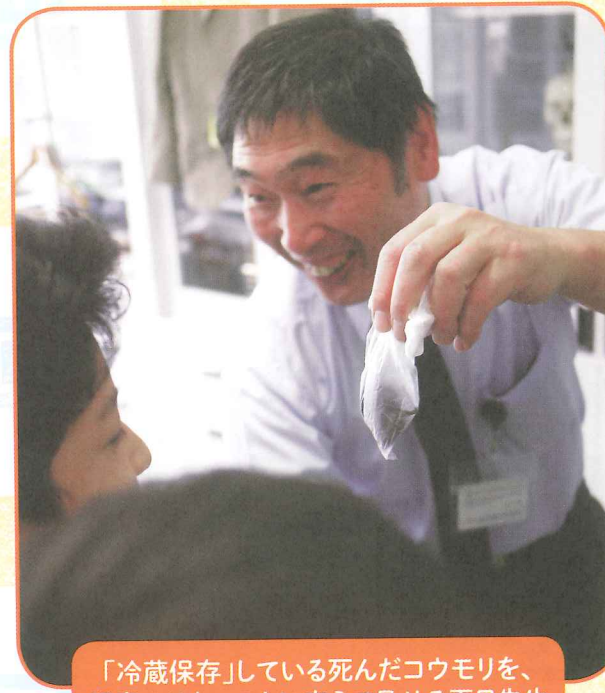
東京都市大学付属小学校 専科教員(理科) 水野俊夫先生／夏目道生先生

今、東京で最も旬な私立小学校が東京都市大学付属小学校だ。中学受験に強い学校として有名だが、ただそれだけではない。今回は児童に絶大な人気のある2人の理科専科教員を紹介する。

取材・撮影・文／石井 至 イラスト／松元まり子



振り子の実験を指導する水野先生



「冷蔵保存」している死んだコウモリを、児童のリクエストに応じて見せる夏目先生

かで明るい校風だ。小学4年生の食育の授業では、オテル・ドゥ・ミクニの三國清三シェフが月に一回来校して授業をするなど、硬軟取り合わせたカリキュラムが特徴の一つ。つまり、東京都市大学付属小学校は「楽しい学校生活」と「中学受験に通用する勉強」を両立させる都内随一の学校といえるのだ。

子どもの興味・好奇心を勉強に生かす

優秀な教師集団の中で、ひときわ異色を放っているのが理科専科教員コンビ。

一人は水野俊夫先生。カリタス女子中学高校の理科教師を42年間やってきた超ベテランだ。カリタスの理科の入試問題といえば、参考書や問題集には載っていない「考えさせる問題」が出て、中学受験塾の講師泣かせで有名。それを長年作っていたのが水野先生だ。小学校の授業でも、考えさせる授業を実践する。さらに、中高で学ぶことを熟知している先生だからこそ、中高での学習内容を見据えた勉強を小学校で教えることができる。女子中高で長年教鞭をとった水野先生にとっては、小学生の特に男子は新鮮な存在だという。

水野先生・夏目先生の教育を自宅で実践

勉強は親に「やれ」と言われてやっても身にならない。家庭に取り入れたいのは、勉強のモチベーションになる子どもたちの好奇心、興味を広げる習慣だ。2人の先生の手法を試してみよう。

・POINT 1・ 親が心から楽しめることを共有

小学生の子どもに何かを体験させようと思ったら、親と一緒に取り組み、心の底から楽しむことが大切。自分の好きなものを子どもと一緒に観察したり、外へ見に出かけることで、子どもは好奇心と「自分の好きなことを探求する」楽しさを知るのだ。



・POINT 2・ 子どもの興味あることにきちんと関心を

小学生なら子どもがポケット一杯にダンゴ虫を拾って帰宅することもあるだろうが、それを「捨てなさい」「気持ち悪い」などと、子どもの興味の芽をつぶすようなことを言うてはいけない。「どこが気に入って持って帰ってきたの?」など、子どもがどこに興味があって、それをどうしたいのかを聞く。子どもの興味・好奇心を、次のステップにつなげられるように親が勉強することが大切だ。



好奇心の塊だからだ。

今では、小学生ならではの好奇心を活用した授業もしている。3年生の授業で、野菜の栽培を終えた畑に生えていたペンペン草を観察させたそう。そのときに「持つて帰っていいですか?」と聞く児童がいたという。水野先生の思うツボだ。大人にとってはたかがペンペン草だが、子どもにはそういう先入観はない。もちろん許可し、観察のアドバイスをして持ち帰らせたという。

サプライズで子どもに興味を持たせる

もう一方の夏目道生先生は四谷大塚の理科の超人気講師から転身してきた理科教師だ。その一方でコウモリの民間研究者としても著名だ。日本でわずか15匹しか確認されていないチチブコウモリの標本を10匹も持っているという。取材当日も学校にチチブコウモリがいた。尾瀬で飛べなくなつて道に落ちていたコウモリを保護し、元

気になって野生へ返すまで、自宅でなく、あえて学校で飼っていたのだ。休み時間になると児童がコウモリに群がり、夏目先生を囲んで質問攻めにする毎日だ。大人でもコウモリを近くで観察する機会はありません。しかし、よく見ると「へえ」と驚くことがたくさんある。その驚きこそが勉強の原点だ。印象も性格もまったく違う異色コンビだが、子どもの興味・好奇心を活用して、それを勉強に結びつけるという手法は共通している。